

モニタリング結果報告書 (2018年度)

1. 施設概要

施設名	葉山港		
所在地	神奈川県三浦郡葉山町堀内50		
サイトURL	http://www.riviera-r.jp/hayama/		
根拠条例	港湾の設置及び管理等に関する条例		
設置目的(設置時期)	公共マリーナ施設整備のため(昭和39年8月)		
指定管理者名	株式会社 リビエラリゾート		
指定期間	H26.4.1~R4.3.31 (2014年) (2022年)	施設所管課 (事務所)	砂防海岸課 (横須賀土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況、利用者の満足度、収支状況の評価結果がB、A、Sとなったため、3項目評価の結果はAとなった。施設の魅力向上のために、これまでの取組を継続して実施するとともに、利用者の要望をふまえたイベントの実施、物品の販売等の充実や広報活動、さらに2020年五輪とタイアップしたイベント等による地域活性化への貢献にこれまで以上に積極的に取り組み、更なる利用拡大に努めてもらいたいと考える。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆管理運営等の状況 業務の運営については、スタッフが分担外の事務に対応出来るような体制を整える、また平成31年度まで受付を年中無休化する等、利用者のサービス向上に努め、概ね事業計画等の内容のとおり事業を実施している。また2020年の五輪とタイアップしたイベント等を行うことで地域活性化に貢献している。 ◆利用状況 利用者数が目標値(前年度)と比べ89.5%と減少したため、B評価とした。 ◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位二段階の回答割合は82.3%になることから、施設の利用満足度はA評価とした。回答数は前年度比332.3%と増加し、回収率も74.8%と前年度比52.4ポイントの増となった。これまでは、アンケートを郵送して、提出を待つのみとしていたために回収率が低く、課題となっていたが、本年度はアンケート回答対象者が来港した際に、アンケートの提出について積極的に声掛けを行うことにより回収率が改善された。 ◆収支状況 マリンスポーツの利用者の増加に伴い、収支差額は2,656千円とプラスであった。収支差額比率が142.72%となったため、S評価とした。 ◆苦情・要望等 特になし。 ◆事故・不祥事等 特になし。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 問題なし。 	
3項目評価	<p>S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	なし
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
業務の運営に係ることについて	<ul style="list-style-type: none"> ・組織体制は平成29年度葉山港人員配置書に基づき実施した。 ・内部管理体制は必要に応じて担当外の業務を相互に支援しながら実施した。 ・スタッフ研修を予定通り実施した。 	提案の効果が確認された。
港湾管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・利用承認手続きは、事務処理要綱に基づき実施した。 ・ヨット競技が同日に開催される際は、安全に留意して実施した。 ・安全管理等のサービス業務を適正に実施した。 	提案の効果が確認された。
維持管理業務に関する事について	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた施設の維持管理に伴う定期清掃を、利用者が安全かつ快適に利用出来るように努めた。 ・津波発生時行動マニュアルに基づき、避難誘導訓練を2月に実施した。 ・駐車場管理業務では、駐車場を快適に利用できるよう、適切な管理に努めた。 	提案の効果が確認された。
開かれた港湾としての取組に関わることについて	<ul style="list-style-type: none"> ・かながわシープロジェクト「Feel SHONAN」をはじめとして、参加者がクルーザーヨットやボートに体験乗船できる様々なイベントを実施した。 ・海の駅として、誰もが利用できるクルーズの受け入れを実施した。 ・駐車場工事の中、通年利用者や学生や持込み艇等の受入れ管理をしつつ、イギリスチームの受け入れに尽力した。 	提案の効果が確認された。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
レンタルボート事業	・会員制のクラブを導入し、クラブ会員のみならず、通年利用者や、レース運営艇としての利用を行う事で、港の活性化に貢献した。6艇体制から4艇体制に変更し実施した。会員制である為、事故やトラブルは無い。
物販、船具販売事業	・利用者のニーズに沿った、ヨット備品やマリングッズを販売した。
海洋普及事業	・葉山港を利用する学生や団体向けに船舶免許教室を開校した。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	15,578	16,577	14,836
対前年度比		106.4%	89.5%
目標値	15,603	15,578	16,577
目標達成率	99.8%	106.4%	89.5%

目標値の設定根拠： 前年度数量

利用者数の算出方法（対象）： 船舶の出艇数

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 主にヨット利用施設であるため

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	アンケート調査	配布151に対し113の回答

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 _____ 施設の利用満足度について

実施した調査の配布方法 郵送 _____ 回収数/配布数 $\frac{113}{151} = 74.8\%$

配布(サンプル)対象 _____ 葉山港施設利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	35	58	16	4	113	施設の劣化について不満が多かった。
回答率	31.0%	51.3%	14.2%	3.5%		
前年度の回答数	4	17	10	3	34	
前年度回答率	11.8%	50.0%	29.4%	8.8%		
回答率の対前年度比	263.3%	102.7%	48.1%	40.1%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：プラスの施設が該当 収支差額の決算額/収支差額の当初予算額の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			収支差額	収支差額の決算額/収支差額の当初予算額
前々年度	当初予算	50,297	28,740	3,540	県収入証紙販売手数料	82,577	70,392	12,185	
	決算	50,297	26,740	3,268	県収入証紙販売手数料	80,305	71,504	8,801	72.23%
前年度	当初予算	49,988	19,428	3,232	県収入証紙販売手数料	72,648	70,663	1,985	
	決算	49,988	27,181	3,343	県収入証紙販売手数料	80,512	68,358	12,154	612.29%
2018年度	当初予算	49,680	19,658	3,264	県収入証紙販売手数料	72,602	70,741	1,861	
	決算	49,680	23,809	3,343	県収入証紙販売手数料	76,832	74,176	2,656	142.72%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

2018年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	0 件		
	件		
職員対応	0 件		
	件		
事業内容	0 件		
	件		
その他	0 件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。